

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 5 月 13 日(2024.5.13)

【公開番号】特開 2024-51061(P2024-51061A)
【公開日】令和 6 年 4 月 10 日(2024.4.10)
【年通号数】公開公報(特許)2024-066
【出願番号】特願 2024-27051(P2024-27051)
【国際特許分類】

A 0 1 N 25/06(2006.01)

10

A 0 1 P 17/00(2006.01)

A 0 1 N 53/08(2006.01)

A 0 1 M 29/12(2011.01)

A 0 1 M 7/00(2006.01)

【F I】

A 0 1 N 25/06

A 0 1 P 17/00

A 0 1 N 53/08 1 1 0

A 0 1 M 29/12

A 0 1 M 7/00 S

20

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 5 月 1 日(2024.5.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

30

匍匐害虫の忌避成分を含む原液と噴射剤とを含むエアゾール組成物が充填されたエアゾール容器と、前記エアゾール容器に取り付けられた定量噴射用エアゾールバルブと、前記エアゾールバルブを介して前記エアゾール容器に取り付けられる噴射部材とを備え、
前記噴射部材には、エアゾール組成物を噴射するための噴口が形成され、
前記噴口の直径が、0.2～4.5 mmである定量噴射型エアゾール製品から、
前記エアゾール組成物を、下方に向けて噴射する、匍匐害虫の忌避方法。

【請求項 2】

1 回あたりの噴射量が 0.2～1.0 mL であり、

処理容量が、1 畳当たり、0.2～1.0 mL となるよう噴射する、請求項 1 記載の匍匐害虫の忌避方法。

40

【請求項 3】

噴射された前記エアゾール組成物の平均粒子径(D50)が15～95 μmとなるよう噴射する、請求項 1 または 2 記載の匍匐害虫の忌避方法。

【請求項 4】

前記忌避成分は、ピレスロイド系化合物であり、

前記匍匐害虫は、ダニである、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の匍匐害虫の忌避方法。

50